



内 容

技術分野

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	*前期（10月中旬まで）は 家庭科分野を学ぶ	
2 学 期	10 材料と加工に関する技術 (板材を利用したものづくり)	◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを 知る。
	11 ○木（植物）と環境とのかか わり	○木材の利用と森林資源との関わりが理解できる ・木が自然界に果たしている役割
	12 ○製作品に用いられる材料の 特徴  ○製作品の構想の表示 (2段式本立ての製作)  ・見取り図の作成  ・材料取り  ・板材へのけがき  ・木工具の使い方	○木の特徴を生かした製品（他の材料にはない良さを生か した製品）  ・キャビネット図、等角図の書き方  ・等角図を活用した見取り図と平面図の作成  ・さしがねの活用  ・板材へのけがき  ・木工具の使い方
3 学 期	1 ・部品加工 ・組み立て  2 ・仕上げ（塗装）  3 ・作品の自己評価 ・木材資源の利用と役割	・各工具を使用した部品加工 ・両刃のこぎり、かんな削り  ・玄能・電気ドリルの使い方、釘と接着剤を併用した組み 立て ・面取り、やすりがけ  ・自己評価

評 価

技術分野 <評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
  - ・実習に集中して取り組み、毎時間の課題を計画的に進めることができる。
  - ・しっかりノートがとれプリントをきちんとまとめることができる。
  - ・持ち物をきちんと用意して授業にのぞむことができる
- ② 創意工夫する能力
  - ・ものづくりを通して、考える力・工夫する力を身に付ける
  - ・製作物の形や構成などを工夫する。
  - ・効率的に作業しようと工夫する。など
- ③ 生活の技能
  - ・作品の仕上がり（かんな削り、釘打ち、面取り等の正確さ）具合。
  - ・工具の正しい使い方と手入れや管理ができる。
- ④ 知識・理解
  - ・図面の書き方、工具の正しい使い方や管理についての基礎的知識を学ぶ。



<評価の方法>

- ・毎時間の授業への取組、製作物の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、定期テストを基にして総合的に評価する。



家庭分野 <評価の観点>

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
  - ・授業の取り組みを良くする。（聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業に集中して取り組む姿勢。）
  - ・制作に必要な用具、物を準備して、作業に進んで参加する。
- ② 生活を創意工夫する能力
  - ・作品制作において自分なりに創意工夫して表現する。
  - ・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態に整える。
  - ・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- ③ 生活の技能
  - ・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。
  - ・調理用具を利用し、料理や味付けができる。
  - ・裁縫道具、ミシンなど縫製に関する用具の便利さと安全性に気をつけて使うことができる。
- ④ 生活や技能についての知識・理解
  - ・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。
  - ・自分の作品について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。

<評価の方法>

- ・毎時間の授業への取組（発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する）、作品の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用などの自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

授業中

- ① 授業の準備をする。  
(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫して作品を制作する。

復習

- 取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。  
(遅れてる場合、自分でできることを行う。)  
\*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。



※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。